

科目名	看護学概論	対象学年・時期	1 学年・前期
講師	副学校長	単位数・時間数	1 単位・30 時間
授業概要	看護学概論は「Introduction to Nursing」とも表現され、看護学の導入部として位置する。本科目では人間・環境・健康・看護の概念について理解し、看護の本質について考える。さらに看護の変遷と看護の役割・機能、看護を提供する場と仕組みを学び。それらの知識を土台として看護への関心を高め、「看護とは何か」について探求し続ける力を身につける。		
授業形態	講義・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	1. 看護の概念を理解するとともに、看護の目的や機能を学び、看護活動の概要が理解できる。 2. 健康の概念を理解し、健康の意義を考察できる。 3. 人間と環境の相互作用について学び、人間の多様性について理解できる。 4. 看護の変遷と併せ、代表的な看護理論化とその理論について知る。		
授業計画	1 回目：ガイダンス…「看護学概論」を学習する意義について 2 回目：「看護とは」を考える 3 回目：看護の変遷①…ナイチンゲールの生涯と功績 4 回目：看護の変遷②…年表を作成してみよう 5 回目：看護理論家とその概念 6 回目：テーマに沿ったグループワーク 7 回目：看護実践の質の保証と倫理 8 回目：「人間とは」を考える①…看護の対象としての人間 9 回目：「人間とは」を考える②…統合体としての人間 10 回目：日常生活行動からみた人体を知ろう①…グループワーク 11 回目：日常生活行動からみた人体を知ろう②…グループワーク 12 回目：日常生活行動からみた人体を知ろう知ろう③…プレゼンテーション 13 回目：「健康とは」を考える…ストレスとストレッサー 14 回目：看護の継続性と連携 15 回目：終講試験		
使用テキスト	系統看護学講座「看護学概論」 第16版 茂野香おる 医学書院 「看護覚え書」 第8版 F. ナイチンゲール 現代社		
事前・事後学修	授業の終了時に次回の講義箇所を確認するので、その時に事前学習の内容等の指示をします。		
評価基準および評価方法	筆記試験とレポートを評定（A・B・C）評価する。なお、筆記試験は80%、レポートは20%とする。		
備考	本科目では「考える」・「表現する（書く・話す）」・「他者の意見を聴く」ことを重視していきます。この活動をとおして獲得した成果は「よい看護を行う」ための基盤となるはずで、「看護」を概観し、これからの学習のイメージを持つことができるよう学習に取り組ましましょう。		

字体は MS 明朝

字の大きさは 10.5 ポイント

列の設定・余白は変えないでください